

指定管理者に係る令和4年度事業報告書及び令和5年度事業計画書について (彩 の 森 入 間 公 園)

指定管理者：彩の森入間公園パートナーズ（平成30年度～令和4年度）

指定管理者：彩の森入間公園パートナーズ（令和5年度～令和9年度）

1 令和4年度事業報告書の概要

(1) 管理業務の実施状況

ア 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、こまめな消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの協力を園内放送で呼びかけ、ポスターを掲示するとともに従業員に徹底した対策を実施した。

イ 公平・平等な利用の確保に努め、公園に対するニーズの収集や、公園管理への意見の反映に努めた。バスケットゴールについては、土・日・祝日に優先予約を設けた。（バスケットゴール優先予約者数2,902人、アンケート回収数540件、うち利用者満足度の満足・やや満足の件数501件）

ウ 7～11月まで「彩の森カフェ ジャクソンセンターOH」周知のためのスタンプラリーを実施したほか、ビアガーデンや上池のライトアップ、ミニ縁日を実施し、来園者に公園での新たな楽しめる空間を提供した。

エ 引き続き17回目のチューリップ1万本プロジェクトを実施し、近隣の小学校・中学校と行うなど、地域社会の発展に寄与する公園管理を行った。

オ 昨年植えたせせらぎの花壇の湿生植物6種類の開花リレーが4月～6月まで見られ、来園者にサクラの後も楽しめる見どころを提供した。

(2) 施設の利用状況（過去5年間）

有料施設なし

(3) 収支状況

(単位：千円)

項目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	38,768	38,768	0		
利用料金収入	808	650	158	行為許可料金収入による増	
その他収入	7,188	6,585	603	自動販売機新設による増	
収入合計	46,764	46,003	761		
人件費	18,443	19,523	△1,080	人員体制変更による減	
事業費	26,758	26,480	278	電気料金高騰による増	
支出合計	45,201	46,003	△802	台風や雪害等の被害がなく減	
収支差額	1,563	0	1,563		

[参考] 指定期間における収支決算額の推移 (単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	57,587	46,337	44,609	44,395
支出	55,875	45,490	44,171	42,505
収支差額	1,712	847	438	1,890

2 令和5年度事業計画書の概要

(1) 基本的な考え方

- ア 彩の森の景観、原点回帰と環境に配慮した公園づくり
- イ 人生100年時代に向けたウェルビーイングの場づくり
- ウ 彩の森ファンコミュニティづくりの推進
- エ ひとりひとりが考えるこれからの防災・安全安心な公園

(2) 事業計画

- ア 草地、樹林地等の維持管理
- イ 園内の巡回、清掃、安全管理等
- ウ 公園施設・設備の保守点検、補修
- エ 他公園や他施設と連携した見どころを創出し、地域貢献
- オ 「デイキャンプ」エリアを活用した防災啓発イベント

(3) 収支予算書

(単位：千円、%)

項目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	50,437	38,768	11,669	30.1	エネルギー高騰分
利用料金収入	770	650	120	18.5	マルシェ等公園施設利用の増
その他収入	6,050	6,585	△535	△8.1	
収入合計	57,257	46,003	11,254	24.5	
人件費	22,139	19,523	2,616	13.4	人員体制変更に伴う増
事業費	35,118	26,480	8,638	32.6	電気料金高騰による増
支出合計	57,257	46,003	11,254	24.5	
収支差額	0	0	0	0	

(4) 執行体制【17名】

本部

├── 総括責任者(1)、副総括責任者(1)

所長(1)

├── 副所長〈維持管理責任者〉(1)

├── 運営管理担当者(1)

├── 広報・プロモーション担当(1)

├── 管理運営スタッフ(5)

└── 維持管理スタッフ(6)

(参考)

○公園の概要

入間市の市街地に隣接し、米軍から返還された基地跡地に設置した公園で、2つの大きな池があり、その間をせせらぎが流れている。(供用面積15.0ha)

○開設年月日 平成10年4月1日